

## 授業展開案 高等学校地理歴史「日本史 B」

## 1 テーマ

平城京と地方社会

## 2 I C T 利活用のねらい


古代律令国家における都市と地方の関係についての学習において古代の行政区分を把握する際に、教師が電子黒板を活用して効果的に地図を提示して説明したり、生徒が学習者用端末で繰り返し練習をしたりすることで、地図資料を活用しながら古代の都市と地方との関係について理解を深めさせる。

## 3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：教材提示装置，電子黒板，学習者用端末

②教材：「古代の行政区分」(Microsoft PowerPoint)

## 4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>平城京の仕組みについて学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条坊制，平城宮，官寺</li> <li>・市の開設と和同開珎の鑄造</li> </ul> <p>都市と地方の関係について学習する。古代の行政区分の畿内・七道や諸国の名称の付け方について理解することを通じて、律令国家における都市と地方との関係について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畿内・七道，諸国，要地の機関</li> <li>・官道の整備</li> <li>・国府，国分寺，国分尼寺</li> </ul> <p>古代の行政区分における諸国の名称及びその位置について暗記する練習をする。</p> <p>律令政府の領域の拡大について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北経営</li> <li>・南九州の服属</li> </ul>	<p>①説明の補助：教材提示装置を用いて電子黒板に資料集の図版を提示する。</p> <p>②説明の補助：電子黒板に古代の行政区分についてのスライドを提示する。</p> <div data-bbox="917 1332 1401 1601" style="text-align: center;">  </div> <p>③繰り返し演習：学習者用端末に古代の行政区分についてのスライドを配布する。</p>

## 5 ICT利活用のポイント

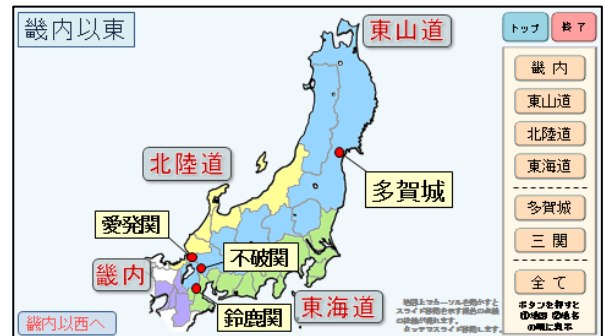
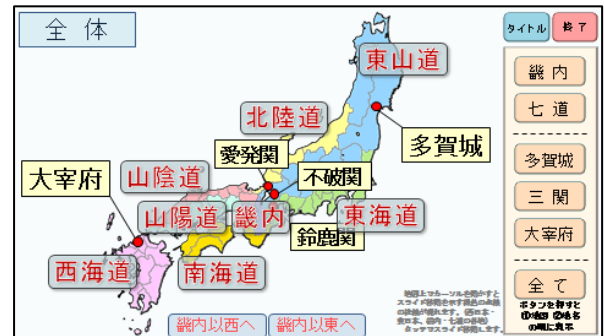
### ①説明の補助

教材提示装置を活用して平城京の資料を電子黒板に提示して書き込みながら説明する。生徒と共通の資料を用いることで、効率よく説明ができる。

### ②説明の補助

電子黒板に「古代の行政区分」(Microsoft PowerPoint)を表示する。まず畿内・七道の位置を、次に諸国名について確認する。古代の行政区分の名称が、都(天皇)の視点から名付けられていることを、次の事例などについて取り上げながら発問して生徒に考えさせることもできる。

- 例1) 「西海道・南海道」
- 例2) 「下野・上野」「下総・上総」
- 例3) 「越後・越中・越前」「肥前・肥後」
- 例4) 「近江・遠江」



### ③繰り返し演習

学習者用端末に「古代の行政区分」を配布し、古代の諸国名を覚える練習をする。

活用方法の事例)

- ・ 諸国名のボタンを非表示に設定する。
  - 電子ペンで諸国名を書かせる。
  - ボタンを表示させ答え合わせをさせる。

